

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 産業振興課

施設名称	〔9〕 東京都台東区立産業研修センター					
指定管理者の名称	公益財団法人台東区産業振興事業団	指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区産業の経営基盤を整備し、区内中小企業の育成を図るとともに、中小企業勤労者の福祉の向上を目的に、勤労者サービスセンター及び産業研修センターの運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	なし					
(3)経営状況	基本財産の額 5億円〔収入〕126,108,452円〔支出〕124,591,949円 〔区返還〕4,941,784円〔当期末残高〕43,054,405円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区橋場1-36-2					
(2)設置目的	台東区の中小企業の振興及び勤労者等の福祉向上並びにものづくりに携わる事業者の育成を図り、もって区内産業の活性化に寄与する。					
(3)利用者	区内在勤、在住の者で構成する団体等 浅草ものづくり工房入居者ほか					
(4)開館日・時間	・開館日：毎週月曜日 国民の祝日に関する法律に定める休日（月曜日の場合はその翌日）1月2日、3日 12月29日から31日までを除く毎日 ・開館時間：9時から22時					
(5)規模	旧館：S56.10.1 開設・延床面積 932.78㎡ RC造3階建 事業者支援施設（貸事務所9室） 機械研修室 新館：S58.11.1 開設・延床面積 1,179.04㎡RC造4階建（4階橋場老人福祉館併設）会議室 研修室 皮革産業資料館兼図書コーナー					
(6)人員体制	産業研修センター所長 1名、事務職員 4名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	【サービス提供】登録団体への各研修室、会議室等の貸出 【事業者支援】浅草ものづくり工房入居者への支援					
(2)自主事業	革工芸教室・CAD講座・語学教室・パソコン教室・太極拳教室等実施					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	20,535,000	21,067,000	17,170,000	16,125,000	16,845,000
	利用料金収入	6,423,000	6,440,000	6,651,000	6,877,000	7,018,000
	その他収入	4,359,000	1,955,000	2,026,000	1,652,000	1,593,000
	管理経費	31,317,000	29,462,000	25,847,000	24,654,000	25,456,000
決算	委託料	18,067,187	17,637,128	14,014,776	14,840,697	16,522,331
	利用料金収入	6,089,500	6,455,375	6,404,325	6,837,875	6,074,620
	その他収入	1,557,927	1,675,671	1,577,819	1,654,225	1,870,578
	管理経費	25,714,614	25,768,174	21,996,920	23,332,797	24,467,529
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	
研修センター会議室利用可能件数	件	4,410	4,395	4,380	4,395	
ものづくり工房入居事務所数	室	9	9	9	9	
6. 成果指標						
指標名称	単位	目標値 （28年度）	24年度	25年度	26年度	
研修センター稼働率	%	27.0	23.9	24.6	22.4	
ものづくり工房稼働率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取り組み				
<p>浅草ものづくり工房入居者退所後のビジネス展開や区内創業に向けては、産業振興事業団が行う助成事業などを活用し支援を行った。また、会議室の稼働率を高めるため、区広報紙や事業団ホームページ、勤労者サービスセンターが会員向けに発行しているセンターニュース等でPRを積極的に行った。あわせて、利用者アンケートを通し、利用者ニーズへの対応に努めた。施設のPR活動としては、地元皮革産業関係者のエラウンドと連携し、「第2回施設公開」を開催し、昨年よりも多くの方が来場し、地域との連携・交流を図った。</p>				
<p>8. 評価項目</p> <p>3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。</p>				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [2] [2] [2] [2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数等の目標達成	[2] [2] [2]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]
<p>9. 評価</p> <p>S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	産業研修センター運営委員会や利用者の意見を伺い、自主事業である教室の開催回数を増やし参加者の増加を図った。浅草ものづくり工房では、モノコボ交流セミナー、皮革関連施設見学会等を開催し、入居者支援を行っている。		
(2)施設の維持管理	A	施設管理は、管理基準を基に点検等を実施しており、業務日誌や施設利用者報告書等によって区に適切に報告されている。清掃業務及び夜間施設管理は、シルバー人材センターに委託し、効率的かつ適切に実施している。		
(3)利用者の満足度	A	稼働率は、企業の利用件数が減少したことにより昨年度を下回ったが、地場産業団体へのPRや利用者アンケート調査、聞き取りにより、意見・要望等を把握し、講座や施設運営に反映するよう努めている。		
(4)収入支出	A	企業の利用件数が減少したため施設利用料収入は減少したが、事業参加費の見直しを行う等、収入確保に努めている。施設管理の中で経費の効率化を図り、適正な予算管理・予算執行を行っている。		
10. 総合評価				
<p>良好 妥当 要努力 要改善 不適</p> <p>妥当</p> <p>協定等の基準に基づき事務処理を含め適切に管理されている。また、施設利用者アンケートを基に要望を把握し、パソコン講座の回数を増やす等、運営に反映するよう努めている。</p>				
11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応				
<p>平成27年度募集の浅草ものづくり工房第3期生については、それぞれの入居者に応じた支援に加え、入居者と卒業生のネットワークづくりと産業振興事業団が実施する助成事業を活用し、アフターフォローを行う。また、会議室の稼働率を高めるため、産業振興事業団経営支援課が行う各種セミナーや相談事業を充実させるとともに、メディアの露出度が高い「浅草ものづくり工房」を活用し施設のPRを積極的に行う。講座等については、27年度から実施している地場産業団体との会議を通じ、意見交換を行う中でニーズを把握し対応していく。</p>				